



平成 30 年 1 月 29 日
会 報 第 10 号

会津「The13」事業協議会 平成29年度 第4回 検討会・勉強会

発行：会津「The13」事業協議会
事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号
TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

この号の内容

1. 開催日
2. あいさつ
3. 事業経過報告
4. 検討会・勉強会
テーマ 「事業の全体像と革新的林業の重要性」
内 容 川上分野の実態と課題の再整理
H29 年度研修終了検定試験のポイント解説
講 師 もりもりバイオマス株式会社
顧問 小林 靖尚 氏
(株式会社 アルファフォーラム
代表取締役社長)
5. 研修終了検定試験
6. 事務局より

1 開催日

1. 日時：平成 30 年 1 月 26 日(金)13:30～16:30
2. 場所：道の駅あいづ 湯川・会津坂下
〒969-3555 福島県河沼郡湯川村大字佐野目字五丁ノ目 78-1
TEL:0241-27-8853
3. 検討会・勉強会
テーマ 「事業の全体像と革新的林業の重要性」
内 容 川上分野の実態と課題の再整理
H29 年度 研修終了検定試験のポイント解説
講 師 もりもりバイオマス株式会社 顧問 小林 靖尚 氏
(株式会社 アルファフォーラム 代表取締役社長)
4. 研修終了検定試験
5. 事務局より

2 あいさつ

1. 唐橋理事長の挨拶



昨年、今年と回を重ね、本事業の輪郭が見えてきた。
これからも事業化へ向け勉強・検討を進めていきたいとのご挨拶いただきました。



平成 29 年度 サポート事業の最終回となる第 4 回 検討会・勉強会開催に際し、天候不良の中、委員、準会員、オブザーバーの皆様約 40 名のご参加をいただき開催することができました事、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

3 事業経過報告



会津若松市より総ヒノキ作りの廊下橋(国内 2 箇所:彦根城、鶴ヶ城)、福島県買取型復興公営住宅整備事業(平成 29 年度完成:いわき市下湯長屋地区 3F 57 戸 2DK~3LDK)へ CLT 導入決定(現在建築中)、木材の輸出量増加等、国内外の情勢を含め木材に対する注目度が上がっている旨の説明がありました。また、原油の輸入状況等を含め本事業の意義の高さ、再生可能エネルギー活用としての方向性の正しさ等のお話があり、本事業の重要性を再認識する事ができました。

4 検討会・勉強会



検討会・勉強会

テーマ 「事業の全体像と革新的林業の重要性」

内容 川上分野の実態と課題の再整理
H29 年度 研修終了検定試験のポイント解説

講師 もりもりバイオマス株式会社 顧問 小林 靖尚 氏
(株式会社 アルファフォーラム 代表取締役社長)

本日の講師である小林 靖尚 氏は、昨年度先行事例として視察した「もりもりバイオマス株式会社(福井県あわら市)」で顧問として準備、検討、立上げをされた実績を基に、現在、当事業協議会の事務局でもご活躍いただいております。

本検討会・勉強会は、上記テーマに対し、川上分野の実態と課題の再整理を重点課題としながら、川上～川中～川下の全域にわたるフロー、グラフ等々により実践的且つ分かり易く説明いただきました。

本年度の最終回として、習得状況確認の為の研修終了検定試験実施に際し、重要な事項に関して経験談を交え様々な角度から説明をいただきました。

本年度テーマである「新しい林業」体制構築へ向け「人材育成」に焦点を絞りご講演をいただいた先生方にこの場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

5 研修終了検定試験



研修終了検定試験実施風景

本年度の検討会・勉強会の内容を基にした研修終了検定試験問題を作成、実施した。採点結果を元に、後日修了証書を郵送する旨小林氏より説明がありました。

6 事務局より

「新しい林業」体制構築へ向け「人材育成」として平成 29 年度に実施した第 1 回～第 4 回 検討会・勉強会開催に際し、ご多用の中、ご参加いただきました委員、準会員、オブザーバーの皆様には心より感謝申し上げます。

来年度は、本検討結果を基に具体的な川下部分に焦点を当て、地域密着型の熱供給事業の検討に進んでまいりたいと考えております。

皆様のより身近なテーマとなりますので、準備が整い次第ご案内させていただきたく、ご多用のところ恐縮に存じますが何とぞご出席賜りますようお願い申し上げます。

以上

た。

同市は昨年、農林水産省が推奨する「農泊 食文化 海外発信地域」の全国各地の統一ブランド「SAVOR JAPAN」に認定された。同協議会が実行組織として活動し、台湾やタイなどの訪日外国人旅行者をターゲットに伝統料理や会津清酒、武家文化などを組み合わせた周遊ルートを整備するほか、地元の受け入れ態勢の確立などを図る。

総会には約20人が出席。新城会長と顧問の室井照平市長がいさつ。議事では、取り組みの認定課程や各団体の取り組みなどを確認した。来年度の同協議会の活動内容として観光資源の磨き上げや訪日外国人客に対応した人材育成、多言語表示の推進などを図ることを決めた。

森林資源の現況説明

湯川で勉強会

会津地方の森林資源活用を目指す会津「The 13」事業協議会は26日、湯川村



の道の駅あいづ湯川・会津坂下で事業の検討会・勉強会を開いた。講演を通じて、木質バイオマスなどの先進事例を学んだ。

会員や行政の関係者ら約40人が出席した。木質バイオマスを活用したエネルギーの地産地消を目指す企業「もりもりバイオマス」（福島県）の小林靖尚顧問が講演。写真。森林資源の現況や木材産業の動向、同社の取り組みなどを説明した。

会津「The13」事業協議会

平成 29 年度 第 4 回 検討会・勉強会（実施日：平成 30 年 01 月 26 日）

福島民報新聞

平成 30 年 01 月 30 日掲載

森林資源の現況学ぶ

湯川で「The13」事業協

会津地域の循環型産業の在り方を探る会津「The13」事業協議会の検討会・勉強会は二十六日、湯川村の道の駅あいづ湯川・坂下で開かれ、商工関係者らが新しい林業構築に向けた事業を考えた。協議会を構成する商工会議所、商工会、企業などの関係者約三十

人が出席した。最終回

となった検討会・勉強会では、福井県のあわら、三国で木質バイオマスボイラー熱供給事

業を展開している、もりもりバイオマス顧問の小林靖尚アルファフオーラム社長が講師を務めた。

小林さんは森林資源の現況や木材産業の動向などを説明しながら、会津地域の森林資源を活用するプロジェクトは地方創生の基礎となる



新しい林業の在り方などを話す小林さん

と強調した。